

授業科目 (ナンバリング)	衛生化学 I (ND226)			担当教員	長岡 寛明・出口 雄也		
展開方法	講義	単位数	1.5 単位	開講年次・時期	2年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
人は食品を摂取し、それを元に生命を維持している。ただ、生命の維持のみではなく、健康的に生命を維持しなければならない。つまり、摂取する食品が安全でなければならない。本講義では、食品の摂取により引き起こされる疾病や危害を防止し、適切な栄養成分の摂取により人の健康を護るために必要な食品の安全性確保のための基礎的知識が利害できるようになることを目的とする。							①②③
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率
専門力	・食品の機能成分、食品の変質、食品添加物、食品行政と法規について、その概要を説明することができる。				定期試験 宿題、課題		90% 10%
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験の成績を 90%とし、筆記試験を行う。</li> <li>宿題・課題の成績を 10%として評価する。宿題は、基本的な概念や語句の理解を前提に、論理的な思考と知識があるかどうかを評価する。課題は授業内に指示する。なお、宿題・課題の総評は授業内あるいはポートフォリオで実施する。</li> </ul>							
授業の概要							
<p>第1～7回：講義。必要に応じてプリント及びパワーポイント等の画像を使用する。</p> <p>第8回目以降：教科書に従い講義を進める。不足する内容についてはプリントを配布して対応する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、112.5分です。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：薬学領域の食品衛生化学 [第2版] (廣川書店)</p> <p>参考書：原色食品衛生図鑑 [新訂第2版] (建帛社)</p> <p>指定図書：食品添加物の危険度がわかる事典 (ベストセラーズ)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>本講義は他の科目(有機化学、分析化学、生化学、微生物学など)の基礎知識に立脚している。そのため、それらの基礎知識をしっかりと身につけて授業に臨んでほしい。日常生活の中で起こっている食の安全性に関心を持ち、本講義で学んだ知識を十分活用できるようになってほしい。質問は基本的に在室中は可能ですので、研究棟3階 P307(長岡)または P308(出口)を訪ねてください。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
1	食品行政と法規	食品衛生行政、安全性の考え方について（長岡）	教科書 p133-136	522
2		農薬の残留基準、コーデックス委員会、消費者庁（長岡）	教科書 p133-135、138	522/525
3	食品添加物	食品添加物とは、分類、指定制度、成分規格と使用基準、安全性試験、ADI、摂取量（長岡）	教科書 p139-142	520/534/536
4		保存料、殺菌料、防かび剤、酸化防止剤（長岡）	教科書 p144-154	520
5		着色料、発色剤、漂白剤、甘味料、その他の添加物（長岡）	教科書 p154-169	520
6		指定を取り消された添加物、表示法、監視業務（長岡）	教科書 p142-143	520
7	食品の器具と容器包装	素材と衛生、素材による環境汚染（長岡）	教科書 p229-232	525
8	食品の変質と保存	講義概要、タンパク質の腐敗（出口）	教科書 p113-118	516/518
9		タンパク質の腐敗とその防止法（出口）	教科書 121-122、125	517/518
10		油脂の変質とその防止法（出口）	教科書 p122-124	517
11		酵素的褐変反応、非酵素的褐変反応とそれらの防止法（出口）	教科書 p118-121	518/ADV174
12		食品中に生成する有害物質（出口）	教科書 p125-129	519
13	食品の機能と成分	講義概要、特別用途食品（出口）	教科書 p100-103	521
14		食物繊維、特定保健用食品（出口）	教科書 p103-106	511/521
15		栄養機能食品、機能性表示食品（出口）	教科書 p107-108	508/514/521
16	定期試験			

注) 上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

\*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号/項目対応表を参照して下さい。